



# 地球を守らなくちゃ

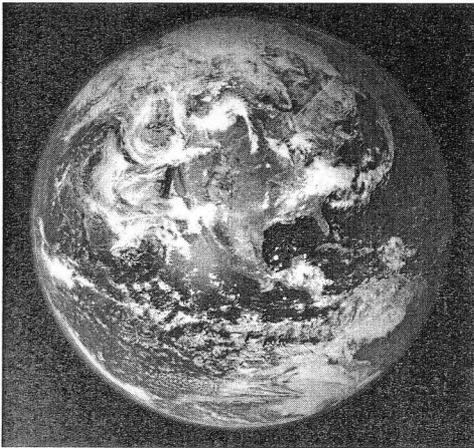


山元 眞 神父

日曜日のミサ後、幼稚園の保護者のお母さんが喜んで話してくださいました。「この前、うちの子と近くの公園に遊びに行ったのですが、公園に着くなり、この子はゴミを拾ってまわったんです。何も言っていないのに自分で…。びっくりしました。どうしてゴミを拾ってまわるの、と聞くと《だって、地球をきれいにしないとかわいそうだよ。地球がこわれちゃうよ》と言うんです。驚きました。褒めてあげました。」

司祭館のとなりは幼稚園。神父と園長の間を歩き来する。毎週金曜日は「宗教保育」。神さまのお話などをする。テーマソングは「神さまいつもいっしょ」。

何度歌っても子どもたちは飽きない。話のテーマはその時々で変わる。



「地球を大切にしよう」というテーマで話したことがあった。わたしはいつもノートパソコン

に「不都合な真実」という映画の映像を入れて持ち歩いている。

地球の美しい映像や北極グマが溺死した話のアニメなどを子どもたちに見せた。地球温暖化やいろんな環境破壊の話は子どもたちも十分理解できたようだ。その原因も結果も。

子どもたちは自分たちが住んでいる地球に驚くほど興味を持ち、映像と話に「食いついてきた。三〇分の話はあっという間に過ぎ、「また見せて！」と強いアンコール。また話すつもり。

地球も生きています。息をしている。動いている。地球も大きないのち。わたしたちを包む大きないのち…。今、その地球が苦しんでいる。泣いている。傷

ついている…。どうしたらいいのかな？

神さまはいろんなものを、すばらしいものを、いのちを生かすものをいっばいくださってる。だから、それを上手に使って無駄にしないこと。もっているものは、もっていない人とみんなに分けっこすること。ものを捨てないこと。捨てないでいいように上手に使うこと。たとえばちゃんと食べること。残さないこと。残さないでいいようにお母さんをお願いすること。残ったものを捨てるとゴミになってゴミは焼かないといけないから焼いたら熱くなって、水が溶ける。今、みんながいっばいゴミを捨ててるから、地球がどんど

ん熱くなって地球の大切な氷が溶けていってる。このきれいな地球がこわれていくんだよ…。

すぐ近くに大きな川がある。土手には車から捨てられたと思われるゴミがいっぱい。幼稚園のマラソン大会が近づいた頃の一人の園児のおじいちゃんが川沿いのゴミを毎日拾ってきれいにしておられたと後で聞いた。子どもたちがうれしい気持ちで



走れるようにと。  
きれいな森の木をいっぱい切ってる。鳥や動物のお家が無く



なってる。住むところが無くなり、食べ物が無くなって、どんどん死んでいってる…。砂漠が広がって、水が無くなっていく。雨が降らないから土が乾いて野菜や食べ物ができなくなる。地球はのどが乾いてたいへんだから、どーっと雨を降らせる。したら洪水になって、今度は人が住むところが流されて無くなってしまっ…。

地球は動物や人間や食べ物のために神さまが素晴らしいものとして創ってくださったのにそれを人間が自分勝手にこわしていってる。だから、地球がこわれないように、もっと大切にしくちや。

「雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ、種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉もむなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす」(イザヤ書五十五章)。神が与えた使命。それは、このすばらしい地球のいのちを守ること。それをわたしたちがする。

ゴミ拾いをした子どもとおじいちゃんを、この地球は泣いて喜んで、あなたかく包んでくれるにちがいない。

【ブログ】

<http://micheleyam.exblog.jp>